

第2回宮代町廃棄物処理検討委員会 会議録

担 当	内 容
司会（瀧口課長）	<p><u>1. 開会</u></p> <p>みなさん、こんにちは。 それでは、第2回廃棄物処理検討委員会を開会させていただきます。</p> <p>ただ今の出席委員は11名でございます、過半数を超えておりますので、宮代町廃棄物処理検討委員会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議を開催いたします。</p> <p>なお前回の会議でもお願いいたしましたが、宮代町では、附属機関等の会議の公開に関する規則に基づき、会議は原則公開としております、会議の傍聴を認めております。</p> <p>ちなみに、本日の傍聴者は、2名でございます。</p> <p>議事に入ります前に、本日の配布資料を確認させていただきます。</p> <p>（資料確認 次第、久喜市にごみを委託処理する経緯）</p> <p>配布させていただきました資料1は、宮代町のごみを久喜市に委託処理する経緯につきまして記載させていただいております。第1回会議で説明が不足しておりましたので、本日議事に入ります前に、事務局より説明をさせていただきます。よろしくお願いたします。</p>
事務局（山崎主査）	<p>環境推進担当の山崎です。私から説明をさせていただきます。申し訳ありませんが、着座にて説明をさせていただきます。</p> <p>それでは配布させていただきました資料により説明をさせていただきます。</p> <p>資料上段の左側には宮代町の現状を記載させていただいております。</p> <p>①といたしまして、宮代町は昭和36年より旧久喜市とともに久喜宮代衛生組合を設立し、ごみ処理を行っております。</p>

②といたしまして、久喜宮代衛生組合の焼却炉は昭和50年、55年に建設され非常に老朽化しているが、現在地及び周辺に建設の合意はできない現状で現在に至っております。

また、上段の右側には久喜市の現状を記載させていただいております。

①といたしまして、久喜市では、久喜宮代衛生組合において、久喜宮代清掃センター、菖蒲清掃センター、八甫清掃センターの3カ所の施設でゴミ処理を行っており、非常に経費、運営等で不効率であります。

②といたしまして、各清掃センターとも施設の老朽化が進み早急な施設の更新の検討が必要であります。

この様な状況を受けまして、久喜市の決断を次に記載させていただいているところでございます。

①といたしまして、久喜市において将来のゴミ処理行政を検討させていただきました。

②といたしまして、菖蒲清掃センターの場所に3カ所の清掃センターを統合した、久喜市内全域のゴミの処理を可能とする「新たなゴミ処理施設」を久喜市として建設する方針を決定したところでございます。

この様な久喜市の決断の中、久喜市の建設する「新たなゴミ処理施設」に、宮代町のごみを受け入れられるとの意向が平成26年9月に示されたところでございます。

この久喜市の意向を受けまして、宮代町の決断を次に記載させていただいております。

①といたしまして、町での検討、町単独処理、委託処理等について検討いたしました。その結果を踏まえまして、

②といたしまして、町議会議員に説明を平成26年9月、10月に行いました。その結果、久喜市へゴミを委託処理することで議員多数の了解を頂いたところでございます。

このようなことから、宮代町のごみ処理を久喜市に委託したい旨を平成26年11月に回答したところでございます。

このことにより宮代町のごみ処理の今後といたしまして、下に書かせていただいております。

①といたしまして、宮代町一般廃棄物（ゴミ）処理基本計画を平成28年9月までに策定が必要になり、また

②といたしまして、平成35年の久喜市新施設稼働に向け、各種項目の調整、実施が必要となるところでございます。

<p>司会（瀧口課長）</p>	<p>また久喜市のごみ処理の今後につきましても ①といたしまして、久喜市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を平成28年9月までに策定。その後、施設整備計画、地域計画を平成28年度内に策定。平成29年度には環境アセスを予定し、平成32年から施設建設となるわけでございます。また、②といたしまして、平成35年4月の新施設稼働に向け、各種項目の調整、実施が必要となるところでございます。 説明は以上でございます。</p> <p>事務局よりの説明は以上でございます。 それでは浅倉会長、議事の進行をよろしくお願いいたします。</p>
<p>浅倉会長</p>	<p>はい。それでは…。</p>
<p>西村委員</p>	<p>いいですか。本題に入る前に、今の報告について、ちょっと3点よろしいですか。</p>
<p>浅倉会長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>西村委員</p>	<p>経緯は分かりました。ただですね、3点ちょっと指摘しておきたいことがあります。</p> <p>1つは、宮代町の現状のうち、②前段についてはそのとおりでございます。ただし、後段につきましては、現在地及び周辺に建設の合意ができない状況で現在に至っていると、これは正確ではありません。この現在地及び周辺に建設するというのは、当時の新設炉建設検討委員会のなかの1つの考え方であって、他にいろいろ考え方があって、そのなかで、結局どれも必要な票数を集められなかった。その結果として、合意できなかつたと。これが正確なところであります。</p> <p>それから、2つ目は、久喜市の決断の中の②の項目の2行目、久喜市内全域のごみの処理を可能とする、この考え方は本当なのかどうか極めて疑わしい。仮にそうだとすれば、一部事務組合として構成している宮代町の考え方、要するに宮代町をその時点からはずしたかたちで久喜市が検討を行っていたとすれば、極めて問題がある。だから、これはそうではないのだろうと思います。これは明らかにそういう考え方で久喜市が事を進めたのではないか。菖蒲にできるというのは、あくまで菖蒲の清掃センターの周辺の地区の要望</p>

	<p>に基づいて、公園整備の要望を発端として、急速にまとまった話になってます。その時に、久喜市が、久喜市の全域についてのみ、こういう処理をするセンターを1ヶ所こしらえるというふうなことで言ったかどうか、これは極めておかしいというか、納得ができないというか、背信行為であるんじゃないかという気持ちがします。</p> <p>それから、第三点ですが、一番最後の宮代町のごみ処理の今後というところで、②新施設の整備に向け各種項目の調整、実施、これをやりますと。基本計画をこしらえるということは、これは宮代町としての、責務になるわけですけど、各種項目の調整というのが本当にできるのかどうか。この点、ちょっと私には解せないなど。あくまで委託処理をお願いするということですから、久喜市のほうで、宮代町の考え方というのが参考として取り入れることはあっても、調整というかたちでできるかどうか、極めて疑わしい。この3つでございます。特に答えはいりません。これは本題に入る前の話ですから。一応意見として述べておきます。</p>
<p>浅倉会長</p>	<p>分かりました。事務局のほうで、今の西村委員に対して何かコメント等ありますか。</p>
<p>司会（瀧口課長）</p>	<p>現状としてはございません。</p> <p><u>2. 議題</u></p> <p>(1) ごみ全般に関する意見交換等について</p>
<p>浅倉会長</p>	<p>それでは、他になにかございますでしょうか、今の事務局からの久喜市にごみを委託処理する経緯につきまして。なければ、今日の本題、ごみの全般に関する意見交換ということなんですけど、ごみ、多分、初めての方もいますので、一旦ごみ問題がどういうふうになっているのかを私のほうで話題提供として、1時間ばかり最近の情報をふまえてご説明いたします。その後に、皆さんの自由闊達なご意見を聞かせていただければなというふうに思っております。</p> <p>～以下、浅倉会長よりパワーポイントを用いて以下の内容について説明～</p> <p>1. ごみ問題とは</p>

	<p>2. 日本におけるごみ処理の現状</p> <p>3. ごみ処理と地球温暖化</p> <p>4. 3Rについて</p> <p>5. ごみ処理の解決に向けて</p> <p>6. 宮代町のごみ処理の提案</p>
浅倉会長	<p>それでは、これからごみに関する意見交換会を行いたいと思います。</p>
雨宮委員	<p>すいません。その前に、前回の議事録が配布されておられませんけど、この委員会は議事録はつくらないんでしょうか。</p>
事務局（山崎主査）	<p>議事録の用意しておりませんでした。作成しておりますので配らせていただきます。</p>
雨宮委員	<p>市民には公開されているということですよ。</p>
事務局（山崎主査）	<p>はい、そうです。</p>
浅倉会長	<p>それでは、意見交換ということですので自由闊達にご意見いただければと思うんですけど、いかがですか。</p>
阿部委員	<p>これから宮代町の基本計画をつくるわけですよ。それを宮代町ではどうやればいいのかっていうことを、今結論を言ってしまったら、それは議論しにくいね。宮代町はこうあるべきだってやりましたよね。それでいいですか、悪いですかって話をしに来てるわけじゃないんです。そこに至るまでの宮代町が今までどういう状況にあって、どうするかということ。もっと端的に言えば、結論は言ったけど、どうやってやるんですかと言うためには宮代町がどんな状況でゴミ出しをしているんですかと。この部分をね、共通の認識を持っていないと、私は何か決めたって進まないと思うんですよ。1つだけ私のほうから提起したいんですけど、宮代町の町民は、今進めている基本計画の中での現状を、衛生組合の要請でも全部真剣に対応しているというふうには思っていないんですよ。具体的例を挙げます。最も焼却をしたときにですね、簡単に燃やせるということではなくて、生ごみを分別しよう。生ごみをなくすと、燃やすごみからなくすと、こういうことをスタートしますね、今の衛生組</p>

<p>浅倉会長</p>	<p>合は。これは燃やすごみの半減化というかたちで、かつて大決断をした衛生組合の管理者がいましたね。そのことでスタートしたごみの分別で、ごみの別処理をするということで皆さんに、それではちょっとやりたいので、これから分別して出すところを募集したいと。こういうかたちで、全部の地区に手を挙げてくださいと、各地区が。これをやりました。そして、現在今進んでいるのが、4トン、日炉4トンで動いています。私はそのときにですね、どこが参加してるんですかと聞いたときに、参加したところでどのくらい切ったんですかと、相当たくさんきたはずだから。そしたら、今あるのは応募してきたところですよ。それ以外は、手を挙げなかったんですかと、そうですよ。</p> <p>つまり、どういうことかといいますと、生ごみを燃やさない処理をするために、いろんな研究をしたいと、皆さん協力をしてくださいと。そのため、皆さんに協力をお願いするのは、分別をすることですよと、生ごみを。それをやりたいので、皆さんで決行してくださいとなったら、手を挙げなかったと。挙げたところは全部で約1万世帯いました。そのなかで1,700は、宮代町。宮代町もそのなかで大きな団地、宮代台、学園台がありまして、これでもう1,000です。1,700しかないんですよ。1万のうちの1,700しか宮代町ではなくて、なおかつ、圧倒的に2つの団地を除いてしまうと、ほとんどは手を挙げなかったと。つまり、そんなことするつもりはないと、住民が考えたということです。これを抱えて、これから我々はごみ問題ということを考えていかなきゃいけないんです。だから、例えば、マイバッグ云々といったって、どのくらいやってるんですか。もうほとんどゼロになるはずですね、真剣なら。しかし、なりませんね。そのことをどうすんですかっていうことまで話をしないと、これから我々は今まで、衛生組合の構成員として久喜と話ができました。今度は違うんですよ。我々はお願いますという立場ですから、先ほど西村委員も言いましたように、ここに書いてあるように調整なんてそういう性質のものじゃないんです。久喜が決めたもので、我々はそれに応じていくという、応じられるんですかという体制を我々は考えてこれからずっと議論したいんですよ。そんなに何かきれいに決めていけば済む性質ではなくて、どこをどう押せばそういうふうになるのかということをお私に議論したいと思います。以上です。</p> <p>他にになにかありますか。</p>
-------------	--

<p>長倉委員</p>	<p>私の、今につながるんですけど、これはあくまで私のほうの話題提供として、今までやってきてこんなふうにしたほうがいいんじゃないかというだけでありますので、こうしなきゃいけないというわけではないというのはご理解して頂きたい。</p> <p>他にどうですかね。</p> <p>私のほうで、プラスチックのできる有料ごみありますよね。あれ、たまたま私、つくばにずっと住んでまして、向こうのスーパー関係とか小売店のほうも協力させて、役所関係はやったと思うんですけど、全部あそこについては、有料レジ袋なんですよ、どこ行っても。まあ、1円か2円とりますけどね。これいりますかって、必要ですって、じゃあ有料になりますというかたちでやってるところもあるんですよ。その代わりに、エコバッグ持っていく場合については、はい、ありがとうございますと。そういう点でかなり、つくばについてはレジ袋を縮小して出さない方向にきてる。そういうかたちをもうちよっと1円でも2円でも負担させていただけるかたちで市民が協力できるような体制ができるかどうかですね。当然、私なんかも年金生活ですけど、1円でも2円でも少ないほうがいいですよ。そういう点で環境について、エコ問題について、有料であると一般の人もわかってきて、今温暖化とかもでてくるなど。その結果、いろんな問題がでてくるなど。1円でも2円でも負担しないことによって、環境もよくなってくるんだなど、というような方向の進め方っていうんですか、市町村とか皆さんが分かりやすくする方法があるんじゃないかって、ちょっと痛みを伴いますけど。それでですね、私も、つくばで、万博が終わってすぐ経って、有料2円てなって高いなど。今になっちゃうと、もう既に大手スーパー、カスミさんもそうですけど、もうばっちり。つくばで、小さい小売店まで浸透してきたと。そういう方向に少しずつでも商業関係の方にやっていただける方向になれば、私はいんじゃないかなと思います。以上参考までに。</p>
<p>浅倉会長</p>	<p>他にどうでしょうか。</p>
<p>岡村副会長</p>	<p>じゃあ、いいですか。私のところ、東地区というところでは、資源回収をやって、去年の暮れに最優秀賞いただいたんですね。あの衛生組合から。たしか、85団体だよ、やってるの、たしか。全地区だとどれくらい、久喜宮代管内だとあるはずだよ。多分8</p>

<p>久喜宮代衛生組合 (鈴木課長補佐)</p>	<p>5は集団回収やってるけど、地区かっていうと2割くらい、やってる率は、もっとある。</p> <p>地区が団体としてでよろしいですか。そういったケース非常に少ないですね。</p>
<p>岡村副会長</p>	<p>少ないよね。85のうち、地区がうちも含めて、10地区業者への直接搬入やってるんですよ。5年前からやって、新聞とアルミ缶ですね。それから、ダンボールと雑誌と布。この、5種類に分別して、月1回資源回収やってまして。今だいたい、うちは200所帯なんですけれども、月平均大体2.8トンくらい。だから、1世帯にすると、12、13キロ出るようになりました。だから、大体、1ヶ月が新聞1個、それがほとんど出るようになりました。直接、春日部の業者があるんですけど。そこに運んで、一応収益にしています。大体、月多いとき、4、5万くらいの収益があがってきています。それを最初、町内、うちの区の人に細かく毎月、収入がいくらでした、支出がいくらありました、今現金こうですと。目的はこうですと、一枚ペーパーにして回覧したところですね。あと、そのほかに年2回くらい、広報誌で載せるんですけど、非常に関心が高まってきてですね。3年前は横這いだったんですけども、少しずつ増えてきまして、今年も去年よりさらに増えてきてると。衛生組合さんの見ると10%くらいだよ。減ってる中で、うちがたまたま去年4%増えたもんだから、そういう賞いただいたと思うんですけど。非常に意識が高まってきてですね、逆に、個人個人が、資源をごみじゃないよという視点で、私が逆に町民の方からこれを大事にしなくちゃいけないといった啓発ができてきてよかったかなと思ってるんですけど。そういった取組を、やはり今聞いたところ、85団体やってるけどもそれは全体で少ないという話なので、取組をまず、衛生組合さん、また町としてもね、推進して行ってほしいなと。できれば私もいくらかでも行きますよ。ホームページも載ってますよ、取組のね。そういうことも話もできますから、いくらかでもやりますよ、そういうできるところからやらないと。もちろん、目的は皆さん同じですから、ごみを減らす、資源有効活用。久喜宮代はそういった資源回収率が高いです。さらに、高くして資源化率を高めれば、もちろんリデュース、発生抑制が重要だと思います。そういう意識が高まらないと、発生抑制になってこない。だから、やっぱり意識を高めていくっていう取組をね、さらに進めてほしいなっ</p>

<p>浅倉会長</p>	<p>て。私いくらでも行きますから。もし、言っていただければ。ホームページに載ってるから、話を、自治会にやりますんで。ぜひ、そういう取組を85団体じゃなくて、全地区に広げるような勢いでやっていただきたいなと思います。以上です。よろしくお願いします。</p> <p>他にいかがでしょう。まだ発言されていない唐澤さん、いかがですかね。</p>
<p>唐澤委員</p>	<p>なかなか皆さん大変勉強なさって、ただ、感心しながら聞いてるだけでしょうか。この地球温暖化でさっき説明されましたよね、浅倉さんが。CO₂が温暖化の原因だっていうのは、間違いないんでしょうか。</p>
<p>浅倉会長</p>	<p>これはもう、間違いないです。</p>
<p>唐澤委員</p>	<p>東大教授のサイトウタカシさんなんかは、論文出しましたけれども、CO₂じゃないってことを言っておりますけどね。また、タケダさんという中央大学の教授ですね。よくテレビなんかでてますけども、あの人ホームページなんかよく見るんですが、メディアと企業が、エコっていうと儲かると。1兆円の予算を使ってるらしいですね、国でね。だから、そのへんのところが、我々はメディアとかそういうところから情報入りませんよね、一般の年配の人とかね、女の方はね。だから実際そのへんがどうなのか。あと、IPCCありますよね、大体、100なん局の代表者が出て、会議やってますよね。そのなかには気候の学者っていうのはほとんどいないんですよ、少ないですよ。ほとんど政治的な意味合いが強い組織ですよ。そういう枠組みのなかで、こういう日本の資金を狙われてるんじゃないかなっていう危惧もあるんですよ。そのへんどうなんでしょうか。</p>
<p>浅倉会長</p>	<p>私が取材したなかでは、COPってありましたね。もう全世界でやっていきましょうっていうふうになった段階、アメリカも中国も全部参加してるわけですよ。そのなかでも地球温暖化の原因が温室効果ガスで間違いないってことです。世界が参加してるわけですから、もし、懐疑論の方がいれば、拒否すればいいわけですよ。</p>
<p>唐澤委員</p>	<p>ほとんど今、ヨーロッパのほうの学者なんかは、シフトしてます</p>

	<p>ね、CO2じゃないと。話が飛んじゃうんですけど、8億年前のCO2は今の50倍なんです。その頃、8億年前、地質学者が調べたら、地球全体が凍ったと。赤道まで凍ったと。そういうデータが地質の中に歴史の中にあるわけなんです。だから、本当にCO2でもって、お金を使って、それが正しいのかって、私なんかは疑り深いもんですから、クエスチョンマークなんですよ。</p>
<p>浅倉会長</p>	<p>その続きは、懇親会の席ということでよろしいでしょうか。横尾さんいかがでしょうか。</p>
<p>横尾委員</p>	<p>私、ちょっと今お話聞いてですね、すごく夢があっという間になつてというのが私のひとつなんですけど。やはり、私は町づくりイコールごみだと思ってるんですね。町の環境が変わっていけば、ごみも変わってくんじゃないかっていうのが私のずっと考えていることなんですけど。たまたま、こないだ大学の先生からお話をうかがう機会がありまして、機械科の先生なんですけど、機械科の先生が機械を開発するのに、生物がきっかけになって、機械ができあがるという話を伺ったんですけど。この世の中にもものすごい夢があって、そして、私たちが想像もできないところから、ヒントを得て、それがものによっていくわけ。ごみもそういうふうにはできるんじゃないかって。ごみは燃えることを考えている。その逆を考えたらどう、ごみを上のほうに積んでたらどうか。それは山ができちゃうからっていうのかもしれないけど。上を作る材料を、灰からなにかできないかって、そういったものがすごく、とんでもないことを考えられている先生がいっぱいらっしゃる。この間も2時間あまりでお聞きしたんですけど、今先生がやってらっしゃることは、きゅうりの芽が、まっすぐ伸びていって、それがバネになっていくと。なぜバネになってくるかっていうと、きゅうりが自分の身を守るために、バネをつくってる。だけど、普通のバネだと、伸びれば、台風が来れば切れちゃう。どうして切れないんだろうかって、こういうきゅうりから切れないバネを考えてるんだっていうとてつもないことを実際カメラでおさめて見せていただいたんですけど。きゅうりの蔓っていうのは、反対回りするんですよ、伸びていくと根元と反対回りしていくから切れないです。だから台風きても切れない、自分の身を守るためには、何か支えるものがないとできないわけです。そういったものがすごく開発されてることがいっぱいある。例えば、今サンヨーで出してる洗濯機、あれが縦型の窓についてるの</p>

	<p>は、猫の手の裏からヒントを得たんだという話を聞きました。それは、猫が毛繕いするとき裏の部分でやってるんです。そういったとてつもないところになにかヒントがあるんですよ。ごみの中にもヒントがあって、なにか形になるものができるんじゃないかなっていうのを。私は、日本工業大学にカギがあるんじゃないかなって。これは、日本工業大学に絶対なにかをやろうとしてる先生がいらっしゃるわけだから、そういう先生方にもぜひ協力していただいて、開発していただければ、未来はあるんじゃないかなって。このままいっちゃうと、まずもう先が見えてますよね。さきほども数字出されましたけど。埋め立ても限りがあるんだよと、何個までなんだよとデータが出たんですけど。そういったものをやっぱり先生方は考えてらっしゃるってこともお話しかがって私は思ったんですけども。夢があって、こういう集まりがあると、宮代町には宝がものすごくあるんだよと聞くんですね。宝どこにあんの。宝には私2つあると思うんですけど、埋蔵金みたいに無理やりとれる宝と、つくりあげる宝があると思うんですよ。そのつくる宝をこれから探してかなくちゃいけない、と思いました。</p>
<p>浅倉会長</p>	<p>ありがとうございました。日工大の話が出ましたけど、雨宮先生どうですか。</p>
<p>雨宮委員</p>	<p>ちょっと、日本工業大学の先生では存じ上げないんですけども、非常に夢のあることをやられている先生がいると、嬉しく思いますけど。ちょっと、そういういい技術があっても平成35年の久喜の稼働までには、ちょっと間に合わないだろうということからすると、もう少し地に足つけたかたちで考えなくちゃいけないかなと。将来、子や孫の世代が新しい技術をつくって、いろんな解決になってくればいいなと思うんですけど。私なんかもだいぶ歳とってますので、どちらかというとなら35年までのほうが心配ですね。このお話の中で、やっぱり宮代のごみをどうするかっていうことなんですけど、久喜に委託するという以上はお金も払わなくちゃいけないと。そのお金は大丈夫かって心配が、1つはあるのと。それから、衛生組合さんとの関わり合いは、今後どうなっていくのか。例えば、今先ほどお話があったあの堆肥化をやってますよね。堆肥化をやっているおかげで、宮代町のリサイクル率は高いと思うんですよ。やっている世帯は少ないけども、それは本当に進められないとすると、やめるのか、それともやはり生ごみの減量を宮代としてやっていくべ</p>

	<p>きなのか。そうすると、今の衛生組合さんのやり方と場所ってのは残しておかなくちゃいけないし、それをやりながら久喜に焼却するべきごみの費用を払わなくちゃいけないわけですよ。そういう二重のものがひょっとしてあるんじゃないかなろうかっていうのがございます。たとえば、全部の焼却を委託するということになったとしても、確かにごみを減らすためには、さっきも浅倉会長のお話のなかにもありましたけど、生ごみを減らさないで減らないんですよ。乾いたものは、プラスチック繊維にはできますけど、生ごみは減らさないで、重さが重くなっちゃう。そうすると料金が容積じゃなくて重さでとられますから、どうやって減らすかと、ということがちょっと。先ほどの堆肥化が進められるかどうか、かなり絡んでる気がします。そういうお話がもう少し出てくればいいのかなど。</p>
<p>浅倉会長</p>	<p>山崎さんどうですか。</p>
<p>山崎委員</p>	<p>私は今皆さんの話を聞いて、私はなにもできません。ちょっとごみを少なくするっていうことに対しては、もっともっと町の、奥さん、旦那がもっともっと協力しないと進みません、これはね。うちの前は川ですけど、毎日毎朝流れてる袋、この前も言ったけど袋、今うちの前にいっぱいありますよ。今まで私拾ってたんだけど、もう呆れかえって拾わない。拾ってももってかない、あいつが、衛生組合が。いろんなもんが入ってるもんね、持ってかないよ。ごみだけじゃないかもしんないけどね。プラスチックは入ってる、ビニールは入ってる、野菜くずは入ってる、おもちゃは入ってる、そういうの袋捨ててあんだからね。うちの前にいくつもありますよ。だから、この問題はとにかく、学校の子供からして躱けていかなかったら、全然だめ。大人でやっても大人が勝手にして放っちゃうんだから。そうでしょう。今ごみ袋やってますよね、あのごみ袋。あのごみ袋さえ銭を出さないで、人のところに入れちゃってんだから。物持ってって入れちゃう、自分の物を持ってって、人の袋をあけて、そん中みんな入れちゃう。そういうあいつじゃとても、減らないですよ。そういう考えの人ばかりじゃね。生ごみなんか減らすのはわからないんだよね、目方減らすのは。絞っちまえばいいんだから、絞ればいい。うちは出るでしょ、上から重しかけちゃう、袋置いておいてね。うちだってキロいくらで持ってってんだから。減らさなきゃいけない。下水のとこ置いておいて、ポリバケツ置いて、上から水いっぱい入ってるのでギューっと。うんと軽くなっちゃう。半</p>

	<p>分になっちゃう。みんなが考えればいいんだよね、考えないから結局びしゃびしゃを引きずって歩くんだよ。それは確かに汚いっていうかもしれない。臭いっていうかもしれない。だけど、一晩くらいの出たやつは絶対臭くないからね、なにをしても。うちあたりでまず、2日置くとちょっと嫌な臭いがするかな。それなりの、うちあたりは努力してますけどね。臭みを止めるんだったら、あれでも大丈夫ですよ。家庭で使う汚れを落とす洗剤を中へ入れておけば全然臭みはでないから。減らすっていうことは生ごみをとにかく絞ることですよ。うちは本当に出るからね、もうとてもとても絞らなきゃ、よっこらっしょって持ち上げたって持ち上がらないんだから。</p>
<p>浅倉会長</p>	<p>ありがとうございます。築井山さんどうですか。</p>
<p>築井山委員</p>	<p>私も、浅倉会長のほうのスライドによっていろいろとこうありがたいというものを、ある面では知識として、皆さんに植え付けたいのかなという話のなかでおそくなされたのかなと。ある面ではこういう話やなんかについても、審議会かなんかもっと国家レベルの経済同友会かなんかも差し入れながら、ある面では大所高所からこうあらなきゃいけないと。今まではこういう廃棄物というのは経済界なんかが出したものをいかに末端の消費者が使って、その末端の消費者が処理するために莫大なお金がかかってたよというところに、ある面では20年、30年前、私も声を高らかにですね、話をして参りました。ある面では、こういった3R運動やなんかすれば、ごみはゼロになるんだと。そういうことによって、もう行政やなんかのほうに対しても、ごみは全くゼロになるんだよという大義名分がもう30年来培っての現実なんです。そういった中で、現実的には、なかなか物事が行かないというのは現実の姿です。そして、今先ほど徳島県の上勝町で34分別くらいありましたよと。この分別をやるっていうことに対しても、非常に前々から私の持論であるお金がかかる、またその保管する場所やなんかも最大限必要だということに相成るわけです。そういう意味でごみというのは考えれば考えるほど、非常に展開がワイドになってきます。そこで、現実的な宮代町というかたちの35年ですか、久喜市のほうにごみを委託していくんだというかたちにほぼ決定したと、ここには書かれています。これは重大な1つのインパクトを持った決断であることは間違いなことなんです。それをどう、議会、さらには町長なんかを含めてこういう事柄を一般市民やなんかの町民にも行き詰</p>

	<p>めていくかといくことが重要なテーマなのかなと。そして、これから、ある面では宮代町というかたちで現実に久喜宮代衛生組合というのがあるわけです。今、雨宮委員も言われましたように、ある面では久喜市のコンポスティングというかたちの堆肥化というのの一部あると。そのへんを推進していくんだということであれば、先ほど岡村副会長のほうから話がありましたように、積極的にこの宮代町では、コンポスティングを推進していくんだと、もう全町挙げていくんだと、それが35年に向けた方針なんだという位置づけができればこういった審議会というのもある面では1つの方向付けができてくるのかなと。いや、そう言いながらもなかなか難しいよと、あれはクローズにしちゃうんだというようなかたちになれば、いかに、今度委託のなかでごみを減量化するための方向性をこの審議会のなかで議論していかなきゃいけないということになるのかなと。そういう1つのテーマを、ある面では共通認識したなかでこの審議会がさらに活発な意見として1つの合意形成が保たれればいいのかというふうに私感じたところなんですけどね。以上です。</p>
浅倉会長	西村委員どうでしょう。
西村委員	<p>各委員の皆様のお話全部うかがって、まず、私のほうから言わせていただくと、この検討委員会というのは宮代町のごみ処理基本計画を策定すること、これが1番の任務であるということは確認しておきたいんです。そのうえで、第3回以降、この処理基本計画の個別の事項含めて検討をしていくということなんです。私は、ごみ処理基本計画は何のためにつくるのかっていうのがまだ頭のなかですっきりしてないんですよ。ごみ処理は久喜市に委託しますという前提のなかで、たとえば、ごみ処理については宮代町で処理しますということになれば、それなりの計画をこしらえなければならない。でも、委託処理をしていくということになれば、お金の問題は別として、これは久喜市の基本計画に沿った内容で分別をし、収集をしてやっていくと。浅倉会長がお話になったことは非常に貴重なやつで参考になるんです、全体的な問題を考える場合に。ただ、この基本計画は、つくったら行政はそれに縛られる。町民もそれに基づいて動く、ということになるわけです。そうしたときに、オリンピックじゃありませんけど、1番大事なものは排出抑制だというふうにありましたよね。リサイクルというのは第3位のところに今の流</p>

れとしてはありますとお話があった。それは間違いはないだろうと思います。そうだと思います。岡村委員がおっしゃったように、やはり、ボトムアップで下からどんどんやっていくこの運動というのは大事なんです。ただ、処理基本計画というものは、やっぱり全体を見ながら宮代町としてはこういうかたちでゴミ処理をしますということを決めるわけです。だから、そこに委託というやつが入ってきてるとどうもやりづらい。その制約を受けちゃう。その制約がなければ、本当の独自のやつをつくったところで、そのとおりやって、対久喜との関係においてはいかない部分もでてくるわけです。ゴミを出さないということが1番大事なことなんですけれども、ただ、出たゴミをどのように処理するのかということで、その前提となるのが分別収集なんですよね。だから、第3回目以降、基本計画そのものについて話し合いをすることになりますけれど、理想論を述べてもしょうがないなど。そうすると、現実的な対応の仕方ということでやっていかざるを得ない。私が1番不満なのは、こういう、ゴミという全住民が待ったなしで起きてくる1番身近な問題について、住民の代表者である議員の皆さんが議会の代表としてここに入っていないということが極めておかしいと思っています。中心部分を決めるわけですから。こちらから、検討委員会で答申を出せば、それは行政は制約されますから。そういうなかで、議員さんがなんとおっしゃるとこれで行くんだって、議会無視だっていうかたちにならないように入ってもらいたいなというふうに思いながら、3回目以降なにを言おうかなと、ちょっともんもんとしてるところはありますけれど。この検討委員の設置要綱、条例がありますけど、条例に基づいてやるというやつは、極めて拘束力のあるやつですから、これはみんな従ってもらわないと困る。だから責任が重いわけです。責任が重いがゆえに、あんまり変なこととも言えないなということで、スタートからどうも。阿部委員にもちょっと指摘されたんですけど、うちがつくった基本計画が、調整しますって絶対調整できないんですよ。久喜市がつくった基本計画で委託というかたちの結びつきででてくるわけです。会長には申し訳ない、悩んでるんですよ。3回目以降どうやろうかなと。個別的なことでいろいろ話是可以るんですよ。全体のところでその位置づけのほうはちょっと私には明確じゃないなということで、そういう話は今日までにしますけども。立派な基本計画をこしらえざるを得ないですから、ということなんです。

浅倉会長	<p>ありがとうございました。じゃあ、金井委員なにかありますでしょうか。</p>
金井委員	<p>私も第3回目以降に発言するつもりでいるんですけど。その前段に久喜市の新しい焼却炉を建設すると。先ほど阿部委員さんのほうからお話でましたけれども、じゃあ生ごみはどうなるのかと。第1回目に配っていただきました衛生組合でつくったごみ処理基本計画のなかにはその堆肥化を含めた資源化率とか、1人あたりの排出量を考慮してつくられてるわけですけど。第1回目のときにですね、執行部のほうから町独自の基本計画をつくるんだ、となると、たとえば、久喜市のほうでは、堆肥化はやらないよと。でも町はやるんだという方向ができればそれに向かって進んでいかなきゃいけないし。あるいは、焼却炉はつくるけども、久喜市さん処理だけお願いしますよと。収集運搬は全部町のほうで入札やるなりして、業者を決めていきますからっていう方法、いろんな方法があると思うんですけどね。おんぶに抱っこじゃなくて。処理だけをお願いします。最終処分はほうだけをお願いします、あとはみんな町のほうでやりますからっていういろんな考え方があると思うんですけど、さきほど当然お話でましたけども、お金の問題もできますしね。その辺、第3回目以降から、結構いろんないい話が皆さん聞けるんじゃないかと思うんですけど。さらにいい計画ができるように微力ではございますけれど、協力していきたいと思います。以上です。</p>
浅倉会長	<p>これで全員発言して、時間もちょうどなんですけど、まだちょっと、この場で言うておきたいっていう方がおりましたら。</p>
唐澤委員	<p>久喜でつくる焼却場っていうのは、どういうふうな、どこの自治体の真似でつくるんでしょうか。どのくらいの焼却能力があるとか、それはまだ未知数なんですか。東京都なんかは、昔、夢の島に埋め立てしたやつを掘り返して全部焼却してるっていうんですね。分別もあんまないで、そのまま全部できちゃうような炉らしいんですけど、そのくらいの規模のやつなんですか。</p>
浅倉会長	<p>そういうのは考えてないです。</p>
唐澤委員	<p>考えてないんですか。どのくらいの能力のある機械なのか。どうなのか。さっき言ったようなダイオキシンとか水銀を出さない装置</p>

	を全部つけるとか。そういう最新先端のやつをつくるわけですよね。
浅倉会長	もちろん、そうですね、最新の。
唐澤委員	生ごみもそのまま出していいわけですね。我々は生ごみ出るもの ですから、生ごみ燃やすには。
阿部委員	3回目以降にね。
唐澤委員	それがちょっとクエスチョンマークでね、どういう機械をつくる のか。安心して生ごみを出せるっていうのはすごい機械ですから。 そうすれば負担金も納得つくまでね。
築井山委員	基本的にはそういうことなんですよ。ただ、そういうごみを宮代 町が頼みだせば、今度は委託料金がかさむから。そんなに出されち ゃ困るよと、久喜市は久喜市で言いますよ。そうなるのかなり宮代 町としては、小さなステージで臨まなくちゃいけない。
唐澤委員	そういうところ、これから煮詰めるんですよね。
岡村副会長	おっしゃるとおり、委託は決まっちゃってるわけだからね。一応 方向性としてはね。だから、委託に向けてどうしますかっていうの を。
浅倉会長	どこまで委託するかっていうのを、これから話し合っていくん です。
唐澤委員	宮代町がどれくらい負担するかってのも、これからですよね。
浅倉会長	ごみを少なくすれば委託料は少なくなるし、たくさん出せば負担 金が増えるということです。ほかにございますか。なければ、この 後懇親会ある皆さん、続きはお願いできればということで、この場 での意見交換は終わらせていただきまして。それでは事務局のほう からなにか。

事務局（山崎主査）	<p><u>3. その他</u></p> <p>はい、その他としまして事務局からは次回の会議の日程調整のほうさせていただければなと思うところでございます。まず、候補として、会議室の関係もあることから、2月16日（火）。この日は1日おさえさせていただいております。また、23日（火）、24日（水）、こちらも会議室のほう1日おさえさせていただいております。19日（金）は午後だけなんです、会議室のほうおさえさせていただいておりますので、皆様のご出席、ご都合のいいときをですね。今のところ会議室おさえさせていただいているのは以上でございます。</p>
事務局（野口副課長）	<p>会長、副会長がいる日でということになると19日で。</p>
事務局（山崎主査）	<p>19日の午後、予定させていただきます。19日午後は役場の2階202会議室がとれておりますので、またご案内させていただきますけれど、よろしく願いいたします。</p>
司会（瀧口課長）	<p><u>4. 閉会</u></p> <p>これをもちまして、第2回宮代町廃棄物処理検討委員会を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。</p>